



美しい時代へ

東急グループ

第144期中間 〔2012年4月1日から
2012年9月30日まで〕

Business Report

Contents

トップメッセージ	1
事業フォーカス 2013年3月16日 東横線と東京メトロ 副都心線との相互直通運転開始	3
新たな都市基盤の整備を起点として 渋谷が変わる、渋谷を変える	5
世界に広がる 東急グループの街づくり	7
トピックス 住宅地とコミュニティの持続、再生を目指す 「次世代郊外まちづくり」の取り組み	8
事業別の概況	9
四半期連結財務諸表	11
会社・株式情報	12
アンケート結果のご報告	13
株主優待のご案内	14



東京急行電鉄株式会社

(証券コード:9005)

ごあいさつ



株主の皆さまには、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、持続的な成長を目指すべく、本年4月より新たな中期3か年経営計画「～創る、繋ぐ、拓く～」をスタートいたしました。当上半期は、本年4月の高層複合ビル「渋谷ヒカリエ」の開業や、2013年3月に予定しております東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転に向けた工事を順調に進捗させました。

今後も本計画の達成に向けて、当社および東急グループは、お客さまの視点に立った事業連携を強化し、「ひとつの東急」として相乗効果を発揮することにより、連結収益の最大化を目指してまいります。

また、当社では、連結子会社を含め、「安全」をすべての事業の根幹と位置づけており、公共交通機関としての使命を担う企業として、引き続き全社を挙げて安全確保に向けたマネジメント体制の強化に取り組んでまいります。

各事業における当上半期の取り組みと、株主の皆さまへの利益還元の方針については、次ページ以降でご案内いたしておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

取締役社長 野本 弘文

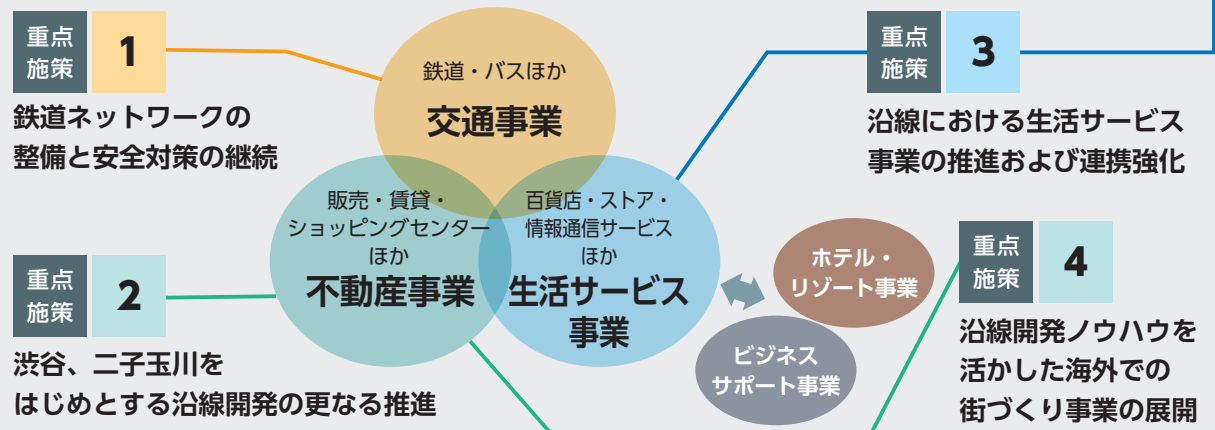
中期3か年経営計画

～創る、繋ぐ、拓く～ (2012年度～2014年度)

の概要

- 創る** 社員一人ひとりが創造力豊かに、お客さまにとっての新たな生活価値を生み出していくこと
- 繋ぐ** 沿線に住む、働く、訪れる人々をはじめ、お客さまと企業をつなぐこと、お客さまの求める商品やサービスを提供すること
- 拓く** 新しい市場の開拓や未経験の領域への挑戦を積極的に行うこと

全体戦略 地域の生活価値を創造し続ける事業展開





事業別の取り組みについて

交通事業では、東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転をはじめとした鉄道ネットワークの整備と、社会的要請度が高いホームドアの設置などの安全対策を、継続的に実施してまいります。

詳細は **3~4** ページをご覧ください。

不動産事業では、東急グループの本拠地である渋谷の再開発を推進し、不動産賃貸事業をさらに発展させて安定収益源を確

保するとともに、ベトナムや西豪州などにおける、沿線開発ノウハウを活かした海外での街づくり事業にも注力してまいります。

詳細は **5~7** ページをご覧ください。

生活サービス事業では、本年6月1日から、新業態ホーム・コンビニエンスサービス「東急ベル」をスタートいたしました。東急グループをはじめとする事業者と提携し、お客さまがご自宅にいながらにして、高品質な商品のご購入、各種サービスをご利用いただける環境を整えてまいります。

株主還元の方針について

当社は、株主の皆さまへの適切な利益還元を経営上の重要政策と位置づけ、本経営計画では、連結自己資本配当率2%を目処におき、安定・継続的な配当を実施することとしております。この方針に基づき、当期の中間配当につきましては、1株につき3円50銭といたしました。なお、期末配当を含めた当期の年間配当につきましては、前期比で50銭増配し、1株につき7円を予定しております。

新業態 ホーム・コンビニエンスサービス 「東急ベル」がスタート



「東急ベル」は、専門スタッフ（ベルキャスト）が、お客さまのご自宅へ商品やサービスをお届けし、「家ナカ」でのお買い物や快適な暮らしのためのお手伝いをするサービスです。

詳細については、**WEBサイト**をご覧ください。

東急ベル WEBサイト

<http://www.tokyu-bell.jp/>



東急百貨店 フードダイレクト 東急百貨店 リカーダイレクト

「東急フードショー」「東横のれん街」などデパ地下グルメを、ご自宅にいながらしてお取り寄せいただけます。



東急ベル

「家ナカお助けサービス」 「シニア定期訪問サービス」

ハウスクリーニングをはじめとした「家ナカ」のさまざまなお困り事にも、安心と快適さをお届けします。



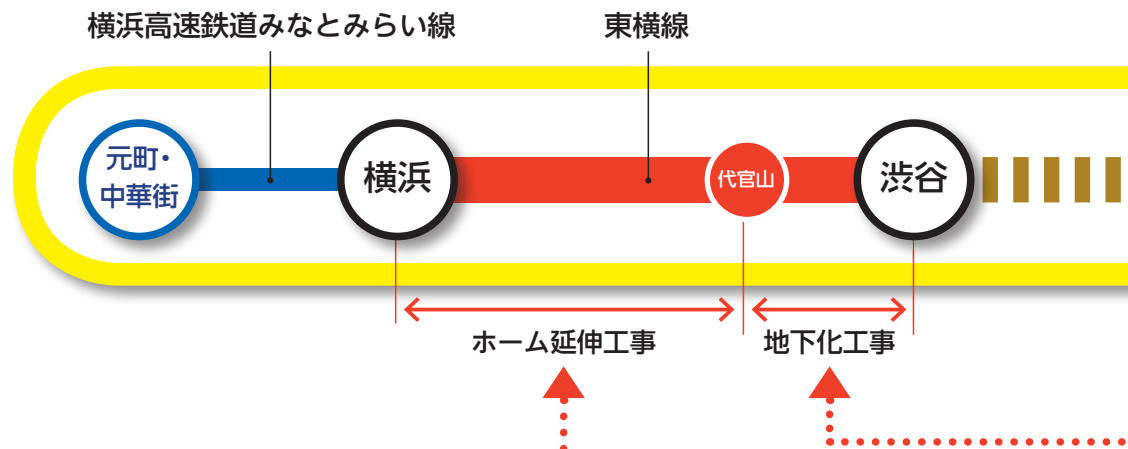
2013年3月16日 東横線と東京メトロ副都心線との 相互直通運転開始



渋谷を経由して5つの路線がつながり、ますます便利になります。

当社では、東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始に向けて、東横線渋谷～横浜間改良工事を進めています。この相互直通運転により、埼玉県西南部から池袋、新宿、渋谷を経由して、横浜方面までを通る5社の路線が1本でつながり、首都圏に新しい広域鉄道ネットワークが形成されることとなります。本年4月に開業した高層複合ビル「渋谷ヒカリエ」の直下にある新しい渋谷駅を経由して、代官山や自由が丘、横浜・みなとみらい地区など魅力的なお出かけスポットを有する東横線を、より多くのお客さまにご利用いただくことが期待されます。

お客さまに「選ばれ続ける東急線」を目指して、今後もネットワーク拡充による利便性向上に取り組んでまいります。



ホーム延伸工事



ホーム延伸前



ホーム延伸後(イメージ)

相互直通運転開始と同時に、特急・通勤特急・急行列車で10両編成での運転を開始(現在は8両編成)するため、停車駅のホーム延伸工事を進めています。

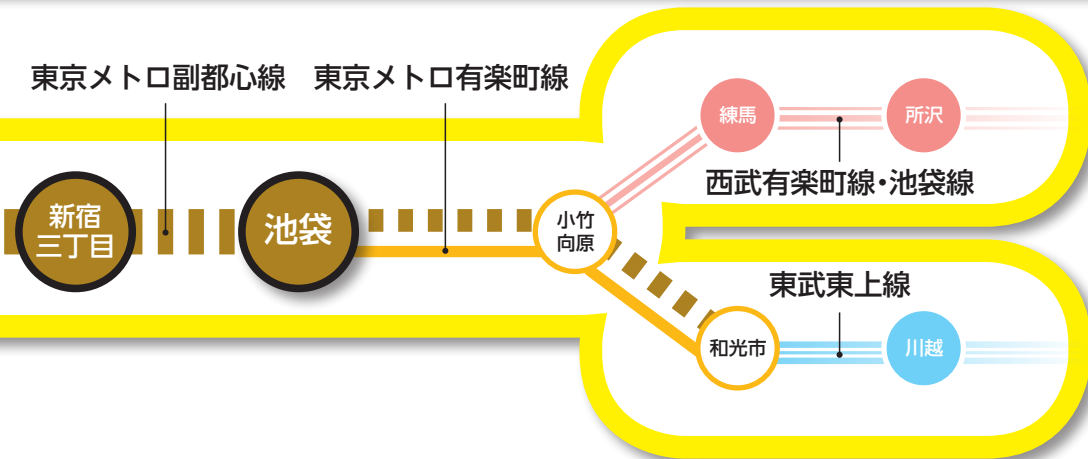


通勤・通学・お出かけがますます便利に、スムーズに行きたい街に！

朝夕の通勤・通学時間帯は約3分間隔で直通運転を実施するほか、渋谷駅始発の下り列車を毎時4本設定するなど、お客さまのニーズを考慮したダイヤで運行します。

所要時分(日中の標準的な所要時分)

- 例1 横浜駅 ←→ 新宿三丁目駅 32分
- 例2 武蔵小杉駅 ←→ 池袋駅 25分
- 例3 自由が丘駅 ←→ 川越駅 60分
- 例4 自由が丘駅 ←→ 所沢駅 52分



渋谷～代官山間地下化工事



地下を走る副都心線と線路をつなぐため、渋谷～代官山間の約1.4kmの地下化工事を進めています。

～ホーム上の安全対策に引き続き取り組んでいます～

当社では、ホームからの転落事故防止策を引き続き進めており、ホームドアについては、2013年中に東横線中目黒駅に設置します。なお、東横線の渋谷駅は、東京メトロ副都心線との相互直通運転にともないホームドアを設置した地下駅へ切り替わります。今後も、車椅子をご利用のお客さまや目の不自由なお客さまにも安心して東急線をご利用いただけるよう、国の補助制度を活用するなどして、ホームドアの整備を進めていきます。



ホームドア(大井町駅)

また、ホームドアが整備されるまでの安全対策として、固定式ホーム柵の設置やホーム安全要員の増員、非常停止ボタンや転落防止ゴムの増設など、さまざまな取り組みを進めています。

今後も東急線を安全にご利用いただけるよう、ハード、ソフトの両面から、ホームの総合的な安全対策を推進していきます。



ホームの非常停止ボタン

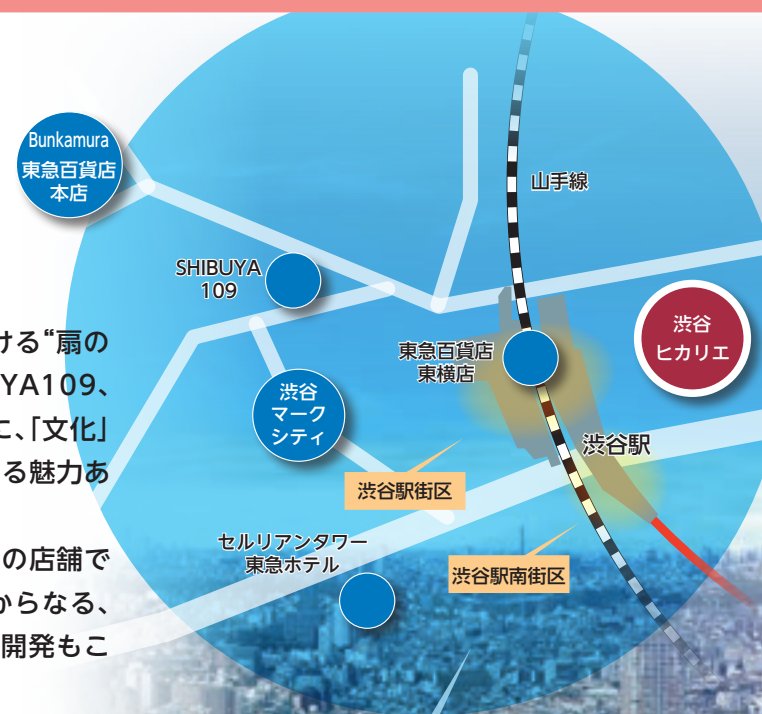


新たな都市基盤の整備を起点として 渋谷が変わる、渋谷を変える

創業以来、当社および東急グループは本拠地である「渋谷」を、交通事業および不動産事業における“扇の要”に位置する重要拠点として開発してきました。東急文化会館をはじめ、東急百貨店、SHIBUYA109、Bunkamura、渋谷マークシティ、セルリアンタワーなど渋谷の街のにぎわいを創出するとともに、「文化」を発信し続けてきました。その渋谷で今、街の歴史を受け継ぎながら、さらに国内外から注目される魅力ある街へと発展させていくための取り組みが進んでいます。

本年4月には、東急文化会館跡地に「渋谷ヒカリエ」が開業しました。「渋谷ヒカリエ」は、約200の店舗で構成する商業施設「ShinQs(シンクス)」や宙空のミュージカル劇場「東急シアターオーブ」などからなる、渋谷駅直結の高層複合ビルです。さらに、高層駅ビルの建設をはじめとする渋谷駅周辺の大規模開発もこれから本格化していきます。

今後も、アジアをはじめとした海外からのお客さまにも心から楽しんでいただける魅力ある街「エンタテインメントシティしぶや」を目指して、新たな都市基盤の整備を進めてまいります。



「渋谷」の魅力をさらに高め、収益基盤の強化を目指す

「渋谷」という街が日本はもとより世界中の人々や企業が訪れたいと願う「エンタテインメントシティ」となることを目指し、当社および東急グループは総力を挙げて、渋谷駅周辺の開発に取り組んでいます。

渋谷駅街区は、当社と同じく地権者である東日本旅客鉄道(株)および東京地下鉄(株)と連携し、高層駅ビルの建設のほか、安全で快適な都市空間の創出を目指し、駅の機能更新や道路などの公共施設の再編・拡充を一体的に行ってまいります。

渋谷駅南街区は、東横線と東京メトロ副都心線の相互直通運転により、地下化する東横線のホーム跡地と線路跡地を利用した開発を行い、鉄道・道路による街の分断を解消するとともに、隣接する渋谷川を含めた緑と水の軸の形成を目指します。



高層駅ビルの完成予想図

※建物計画により、変更になることがあります。



Close Up
ヒカリエ

国内最大級のミュージカル劇場 「東急シアターオーブ」



「渋谷ヒカリエ」の11～16階に位置する当劇場は、客席数1972席という国内最大級の座席を有しながらも、観やすさと聴きやすさを追求しています。ダンサーの表情や足元の動き、美しい音と響きとともに、欧米を中心とした本物のライブエンタテインメントの感動と魅力を余すところなくお届けします。



ノートルダム・ド・パリ〈英語版〉

話題のミュージカルを続々上演しています！

本年7月の開業以来、多くのお客さまにミュージカルの魅力を体感していただいています。2013年も話題作が続き、フランスから初来日する「ノートルダム・ド・パリ〈英語版〉」はクラシック、モダン、ストリートなど多彩なダンスやアクロバティックな演技も楽しめる作品です。ぜひ一度足をお運びください！



東京急行電鉄(株)
都市開発事業本部
エンタテインメントシティ推進委員会
大橋 千裕

公演ラインナップなどは公式ホームページで詳しくご案内しております。

<http://theatre-orb.com/>

シアターオーブ

検索



クリック!



世界に広がる 東急グループの街づくり

「東急多摩田園都市」における沿線開発ノウハウを活かし、海外での街づくり事業の展開に取り組んでいます。



中国・上海

本年8月 現地法人のオフィスを開設

本年5月に設立した現地法人のオフィスを8月に開設し、業務を開始しました。訪日観光客を東急グループの事業拠点、渋谷へ呼び込むための各施策を打ち出し、インバウンドビジネスの促進を目指すほか、東急グループ各事業における中国での事業展開のサポート業務などに取り組んでいきます。



ベトナム・ホーチミン市郊外 ビンズン新都市での都市開発を推進

3月に設立した合併会社 7月より業務開始

ベトナム社会主義共和国において、工業団地、住宅地、都市交通インフラなどの整備実績をもつ開発事業者である「BECAMEX IDC CORP.」と当社が本年3月に設立した合併会社「BECAMEX TOKYU CO.,LTD.（以下、ベカメックス東急）」は、7月2日より都市開発事業を開始しました。今後当社は、ベカメックス東急を通じて、「東急多摩田園都市」における街づくりのノウハウを活用することにより、同国内最大級となる街づくりを展開していきます。

バス事業を中心とした公共交通システムの 開発についての調査を開始

当社は、「BECAMEX IDC CORP.」と、「同国ビンズン省およびビンズン省～ベトナム南部地域間におけるバス事業を中心とした交通システム開発の調査提携に関する基本覚書」に調印しました。

ビンズン省は、年平均のGDP成長率が14～15%と同国の平均を大きく上回る急成長を遂げていますが、既存の公共交通インフラは対応しきれていないことが課題となっています。日本国内で当社および東急グループが培ってきた交通インフラ整備のノウハウを活かし、同省および周辺地域における公共交通システムの計画立案などに取り組んでいきます。



BECAMEX
TOKYU

「BECAMEX TOKYU CO., LTD.」
ロゴマーク



ビンズン新都市全体像(イメージ)



オーストラリア・パース市近郊

ヤンチェップ地区における都市開発を推進

現在推進中の宅地造成・分譲事業に加え、新たに雇用促進事業を手がけます。また、グローバル人材を育成する世界各国のサテライトキャンパスを複数誘致することで、世界中から集まった学生たちがお互いの文化や国際感覚を学ぶ場としての「インターナショナルキャンパスシティ」を整備していきます。



住宅地とコミュニティの持続、再生を目指す 「次世代郊外まちづくり」の取り組み

少子社会、超高齢社会を迎えているわが国では、大都市近郊の郊外住宅地においても、今後は若い世代の減少や住民の高齢化、住宅の老朽化、地域活力の低下などが進行し、さまざまな社会課題が顕在化してくることが懸念されています。本年4月、当社は横浜市と「次世代郊外まちづくり※」の推進に関する協定を締結し、人口減少社会、高齢社会の社会課題を解決し良好な住宅地とコミュニティの持続、再生を目指していく「次世代郊外まちづくり」に着手しました。横浜市では「次世代郊外まちづくり」を2011年12月に選定された国の「環境未来都市」の主要プロジェクトに位置づけています。

※田園都市線沿線の住宅地を舞台に、先進的な官・民連携と地域の皆さまの参画によって、多世代が安心していきいきと暮らせる「まち」の実現を目指していく取り組み。

第1号モデル地区をたまプラーザ駅北側地区に決定

本年6月、当社と横浜市は、「次世代郊外まちづくり」の第1号のモデル地区を横浜市青葉区美しが丘の「たまプラーザ駅北側地区」に決定しました。7月のキックオフフォーラムを第一歩に、地域の皆さまとともに「次世代郊外まちづくり構想」を策定していくワークショップや、住まい、地域医療や介護、交通システムなど、これからのまちや暮らしを支えていく「暮らしのインフラネットワーク」の整備を、地域の皆さまや企業の参画を得て進めてまいります。



握手を交わす、当社取締役社長野本弘文と林文字横浜市長



「次世代郊外まちづくりキックオフフォーラム」の様相

キックオフフォーラムの詳細は、「次世代郊外まちづくりプロジェクト」のホームページでも詳しくご紹介しております。

<http://jisedaikogai.jp/>

「たまプラーザ テラス リンクプラザ」が開業

本施設は、「次世代郊外まちづくり構想」の先行施設として2013年3月に開業します。駅、商業施設、住宅を通路によってつなぎ、駅を中心としたフラットな街の動線を創出するとともに、施設内には、行政サービスや当社事業のデイサービス、保育、医療等の機能を集約して利便性向上と世代間の交流促進を図っていきます。本施設を先駆けとして、引き続き、地域の人々を支え、繋ぎ、多世代が安心していきいきと暮らせる東急沿線を目指し、駅を中心とした街づくりを推進してまいります。



全体外観 イメージパース



事業セグメントの変更について

中期3か年経営計画の実施に伴い、2012年度より事業セグメントを以下のとおり変更しております。

なお、右記に記載の2011年度の各情報は変更後のセグメントの情報を反映しております。



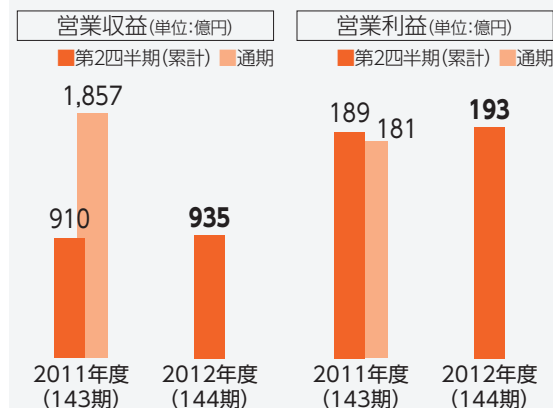
交通事業

鉄軌道業	東京急行電鉄(株) 伊豆急行(株) 上田電鉄(株)
バス業	東急バス(株) (株)じょうてつ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益	935億円 (前年同期比2.7%増)
営業利益	193億円 (前年同期比2.0%増)

●当社鉄軌道業において、東日本大震災による影響の反動増や、渋谷ヒカリエの開業効果などにより輸送人員が増加したことに加え、伊豆急行(株)や東急バス(株)においても、東日本大震災による影響の反動増などにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で増加。



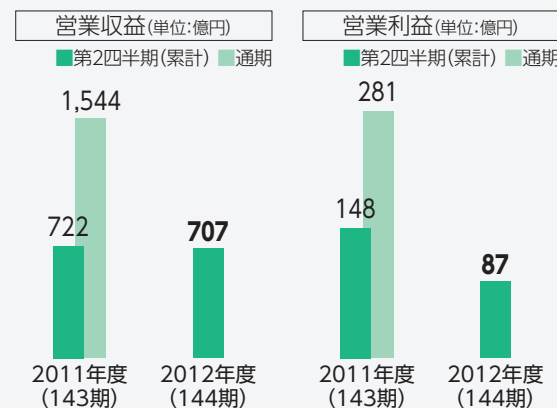
不動産事業

不動産販売業	東京急行電鉄(株)
不動産賃貸業	東京急行電鉄(株) (たまプラーザ テラス、渋谷ヒカリエ、二子玉川ライズ、東急キャピトルタワーなど)
不動産管理業	東急ファシリティサービス(株)
ショッピングセンター業	(株)東急モールズデベロップメント

当第2四半期(累計)の業績

営業収益	707億円 (前年同期比 2.1%減)
営業利益	87億円 (前年同期比41.5%減)

●当社不動産賃貸業において、渋谷ヒカリエの開業などによる賃貸収入の増加があったものの、当社及び西豪州子会社の不動産販売業において、前年同期の大規模な土地販売の反動があったことなどにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で減少。





生活 サービス事業

百貨店業	(株)東急百貨店 (株)ながの東急百貨店
チェーンストア業	(株)東急ストア
ケーブルテレビ事業	イツツ・コミュニケーションズ(株)
クレジットカード業	東急カード(株)
警備業	東急セキュリティ(株)
学童保育事業	(株)キッズベースキャンプ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **2,589**億円 (前年同期比 1.1%増)
営業利益 **33**億円 (前年同期比 24.4%減)

- (株)東急百貨店における東日本大震災による影響の反動増や、渋谷ヒカリエのShinQs開業などにより、営業収益は前年同期比で増加。
- (株)東急ストアにおける既存店の不振などにより、営業利益は減少。



ホテル・ リゾート事業

ホテル業	(株)東急ホテルズ マウナ ラニ リゾート (オペレーション),INC.
ゴルフ業	(株)スリーハンドレッドクラブ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **444**億円 (前年同期比 11.3%増)
営業利益 **5**億円 (前年同期は 21億円の営業損失)

- (株)東急ホテルズにおいて、東日本大震災による影響の反動増に加え、積極的な営業活動を行った結果、客室稼働率が大幅に改善し、前年同期比で営業収益は増加し、5億円の営業利益を計上。



ビジネス サポート事業

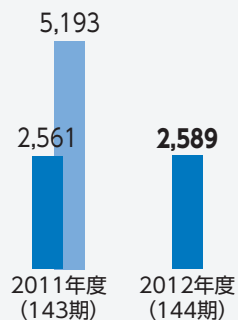
広告業	(株)東急エージェンシー
商社業	東急ジオックス(株)
鉄道車両関連事業	東急テクノシステム(株)

当第2四半期(累計)の業績

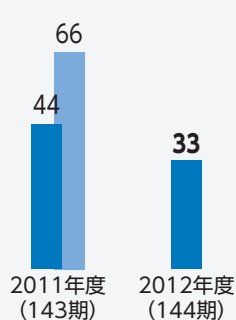
営業収益 **867**億円 (前年同期比 18.7%減)
営業利益 **8**億円 (前年同期比 28.5%減)

- 鉄道車両関連事業の東急車輛製造(株)の事業譲渡を行ったことなどにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で減少。

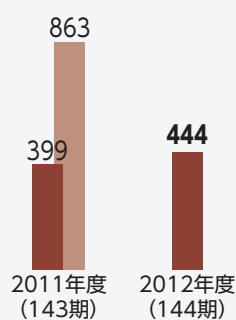
営業収益(単位:億円)
■第2四半期(累計) ■通期



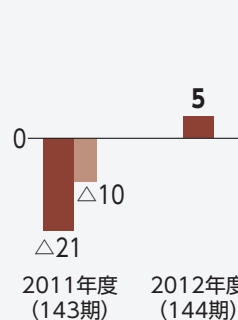
営業利益(単位:億円)
■第2四半期(累計) ■通期



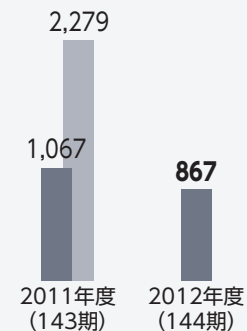
営業収益(単位:億円)
■第2四半期(累計) ■通期



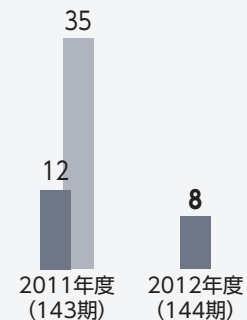
営業利益(単位:億円)
■第2四半期(累計) ■通期



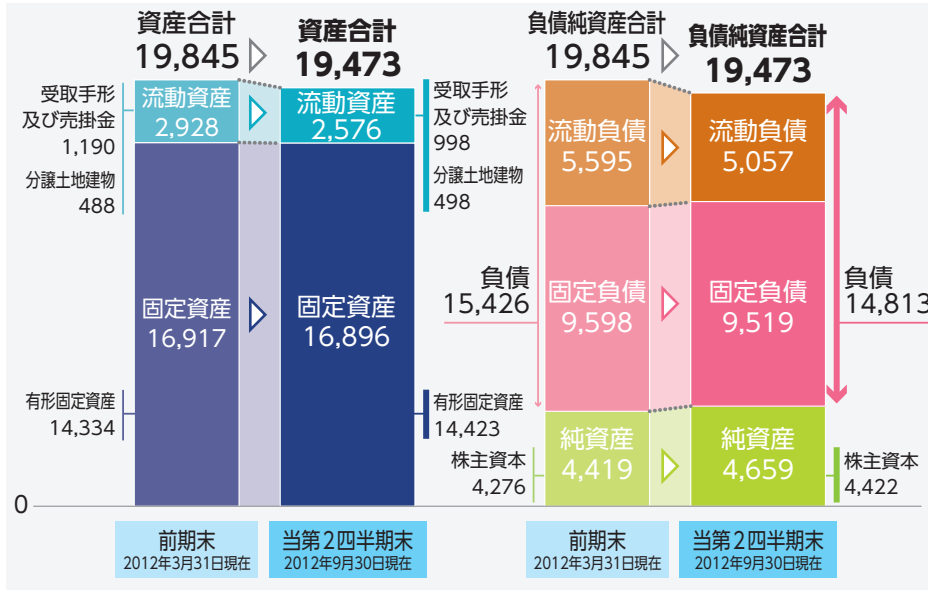
営業収益(単位:億円)
■第2四半期(累計) ■通期



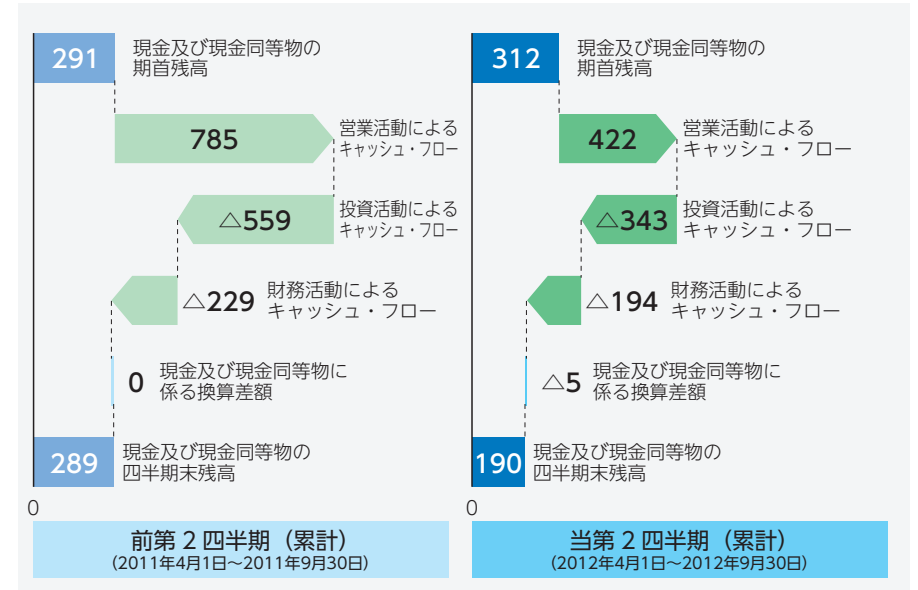
営業利益(単位:億円)
■第2四半期(累計) ■通期



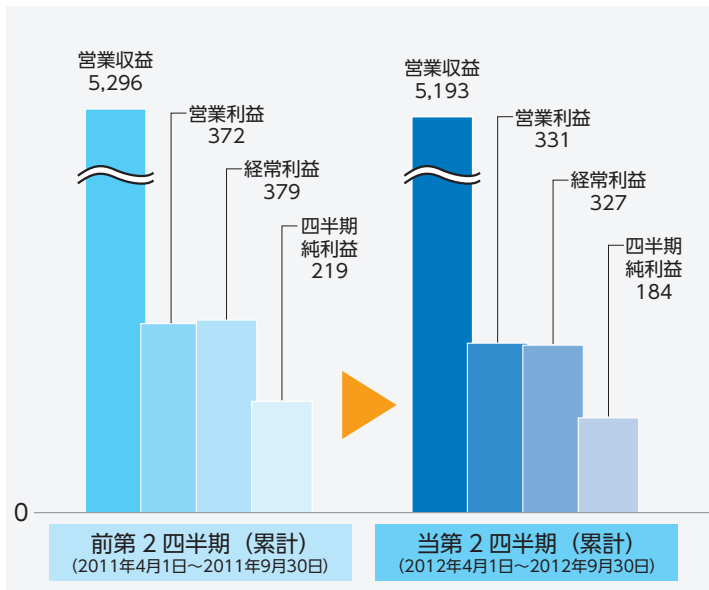
四半期連結貸借対照表の概要 (単位：億円、単位未満切捨)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：億円、単位未満切捨)



四半期連結損益計算書の概要 (単位：億円、単位未満切捨)



四半期連結貸借対照表のポイント

- 総資産は、東急車輛製造(株)の事業譲渡などにより、1兆9,473億円(前期末比372億円減)。
- 負債は、有利子負債の減少や、東急車輛製造(株)の事業譲渡などにより、1兆4,813億円(前期末比613億円減)。
- 純資産は、四半期純利益の計上や少数株主持分の増加などにより、4,659億円(前期末比240億円増)。

四半期連結損益計算書のポイント

- 営業収益は、東日本大震災による影響の反動増や、渋谷ヒカリエの開業効果などがあったものの、東急車輛製造(株)の事業譲渡による減少などにより、5,193億円(前年同期比1.9%減)。
- 営業利益は、当社及び西豪州子会社における不動産販売の減少などにより、331億円(前年同期比11.1%減)。
- 持分法による投資利益の減少などにより、経常利益は327億円(前年同期比13.6%減)、四半期純利益は184億円(前年同期比15.8%減)。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少額の増加や、法人税等の支払額の増加などにより、363億円の収入減。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、当社において固定資産の取得による支出が減少したことや、貸付金の回収による収入が増加したことなどにより、215億円の支出減。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済を進めたことなどにより、194億円の支出。



会社概要

- 商号 東京急行電鉄株式会社
(英文名) (TOKYU CORPORATION)
- 設立年月日 大正11年(1922年)9月2日
- 本店所在地 東京都渋谷区南平台町5番6号
- 事業内容 鉄軌道事業・不動産事業

役員一覧

- ※ 取締役会長 越 村 敏 昭
- ※ 取締役社長 野 本 弘 文
- ※ 取締役副社長 杉 田 芳 樹
- 専務取締役 高 橋 遠
- 今 村 俊 夫
- 桑 原 常 泰
- 常務取締役 巴 政 雄
- 泉 康 幸
- 渡 邊 功
- 取締役相談役 上 條 清 文
- 取 締 役 八 方 隆 邦
- 大 畠 俊 昭
- 大 野 浩 司
- 星 野 俊 幸
- 高 橋 和 夫
- 根 津 嘉 澄
- 小 長 啓 一
- 金 指 潔
- 常勤監査役 岩 田 哲 夫
- 吉 田 創
- 監 査 役 岡 本 罔 衛
- 斎 藤 勝 利
- 石 原 邦 夫

※は代表権を有する取締役です。

株式の状況

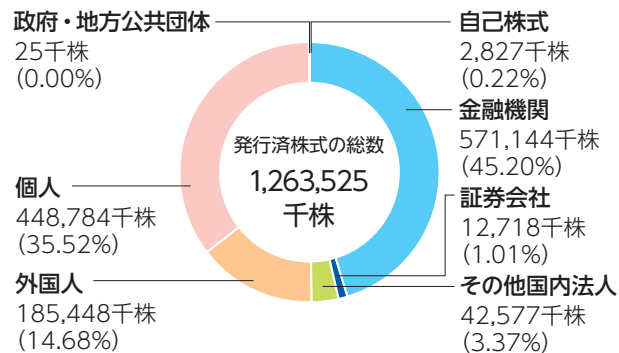
- 資本金 121,724,981,774 円
- 発行可能株式総数 18 億株
- 発行済株式の総数 1,263,525,752 株
- 株主数 95,630 名

大株主 (上位 10 名)

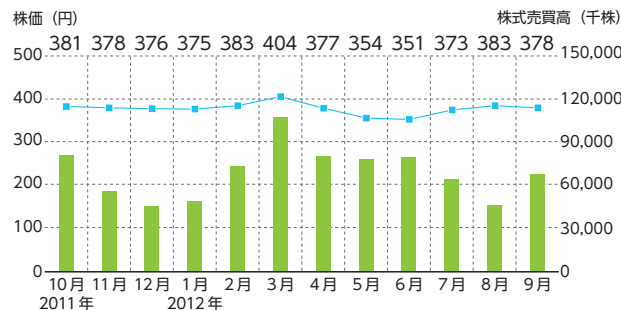
株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	77,475	6.13
日本生命保険相互会社	65,356	5.17
三井住友信託銀行株式会社	59,573	4.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	44,702	3.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	35,678	2.82
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	25,915	2.05
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,477	1.70
三菱UFJ信託銀行株式会社	21,188	1.68
株式会社みずほコーポレート銀行	20,236	1.60
太陽生命保険株式会社	17,133	1.36

※発行済株式の総数(自己株式を含む)に対する割合を表示しています。

所有者別株式分布



株価と株式売買高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
 期末配当金支払基準日 3月31日
 中間配当金支払基準日 9月30日
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 **0120-782-031**
 (フリーダイヤル・平日9:00~17:00)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っています。

復興特別所得税について

2013年1月以降支払い分の配当金等より復興特別所得税が課税されることとなりました。
今回の中間配当金については適用対象外ですが、2013年1月以降に支払いが決定した株主さまへの配当金等に対して課税されることとなります。
 詳細は国税庁のホームページ等をご覧ください。

復興特別所得税

検索



アンケート結果のご報告

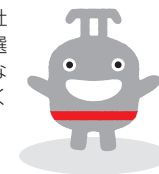
BR
07

→ 株主優待のご案内

本年6月に実施させていただきましたアンケートにつきましては、5,000名を超える株主の皆さまからご回答をいただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。これからもなお一層株主の皆さまのご意見を活かしてまいります。

初めまして！ 東急線のマスコットキャラクター「**のるるん**」です。

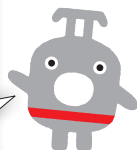
当社は、主力車両の5000系をモチーフにしたマスコットキャラクターを制作し、当社ホームページを通じて、愛称を募集しました。期間中、6,206件のご応募をいただき、選考の結果「のるるん」に決定しました。「のるるん」という名称は、「乗る」や「るるん」など電車に乗ることの楽しさを表現しています。今後は、東急線により親しんでいただくを目的に、各種イベントに積極的に参加するなど、活躍の場を広げてまいります。※イベントの実実施時刻や内容などは、決まり次第当社ホームページ (<http://www.tokyu.co.jp/>) でお知らせします。



Q: 今回の「第143期 Business Report」で
ご興味を持たれた記事は何ですか。

第1位 事業フォーカス(渋谷ヒカリエ)	43.4%
第2位 株主優待のご案内	38.5%
第3位 事業フォーカス(鉄道)	36.0%

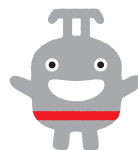
本年4月に開業した「渋谷ヒカリエ」の記事が1位となりました。今回のBusiness Reportでも、「渋谷ヒカリエ」をはじめとする渋谷駅周辺開発計画について、詳しくご紹介しています。今後も、株主の皆さまの関心が高い情報を中心に、多彩な情報をよりわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。



Q: 今後の当社株式の保有に関して
どうお考えですか。

第1位 長期保有(1年以上)	84.3%
第2位 買い増し	19.9%
第3位 その他	9.4%

「長期保有(1年以上)」とお答えいただいた株主さまが8割以上という結果になりました。今後も当社株式を継続的に保有いただけるよう、努めてまいります。



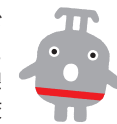
Q: 当社の株主優待に関するご意見・
ご要望などがございましたら
ご記入ください。

アンケートにご回答いただいた株主さまのうち、約4割の方から貴重なご意見を頂戴いたしました。その中からいくつかのご意見をご紹介します。



東急ホテルズの優待券は、割引率が低すぎる。もっと割引率の高い企画商品もあるので、割引率を上げてほしい。

株主優待よりも割引率の高い企画商品があるのも事実ではございますが、中には、ご利用時期、ご利用できる施設等を限定しているものや、季節により割引率を変えているものも多く含まれているのではないかと存じます。当社の株主優待は一部の施設を除き、ご利用時期やご利用施設を問わず、同じ割引率が適用されるものとなっております。株主優待と割引率の高い企画商品を使い分けていただければ幸いです。



Q: 当社の株式をご購入する際に重視された
事項は何ですか。

第1位 株主優待	62.0%
第2位 安定性	56.5%
第3位 将来性	30.0%

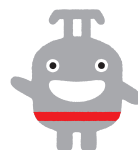
「株主優待」とお答えいただいた方が6割を超え、当社の株主優待への関心の高さがうかがえました。引き続き、当社では、株主優待制度の内容充実を検討してまいります。



Q: 次のサービスの中で、既にご登録・
ご利用されているものはありますか。

第1位 TOP&カード	48.2%
第2位 イッツコム(ケーブルテレビ、インターネットなど)	20.6%
第3位 東急ホテルズコンフォートメンバーズ	9.2%

半数近くの方に「TOP&カード」とお答えいただきました。多くの株主さまに、当社事業をご利用いただいていることがうかがえます。今後も、当社ならびに東急グループにおけるサービス向上に努めてまいります。



沿線以外に住んでいても利用しやすい優待にしてほしい。

株主優待は、株主の皆さまに当社ならびにグループ会社の事業を理解していただきたいという趣旨から、乗車券やグループ会社を含めた施設の優待券、招待券をお配りしており、ご利用促進の機会にもなっております。中でも東急ホテルズのご優待券は全国各施設でご利用いただけます。また他のご優待に関しましては、沿線にお越しいただいた際などにご利用いただけますと幸いです。



今後も株主の皆さまのご意見を参考にしながら、より良い株主優待制度を目指し検討を重ねてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

アンケートの集計結果や株主の皆さまから寄せられたさまざまなご意見・ご感想をご覧いただけます。

<http://www.tokyu.co.jp/ir/stockholder/q.html>

株主優待のご案内

BR
08

2012年9月30日現在の株主さまに適用される株主優待制度について記載しております。
なお、2013年3月31日時点以降の株主さまに適用される株主優待制度につきましては、送付状裏面をご参照ください。

株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線全線にご乗車いただける株主優待乗車証や当社グループ各施設でお買い物・ご宿泊等にご利用いただけるご優待券をお送りしております。

1,000株以上

ご所有の株主さまへのご優待

発送は半期ごと(6月、12月)になります。



さらに

3,000株以上

ご所有の株主さまへのご優待

発送は半期ごと(5月、11月)になります。



東急百貨店 ^(注1)	お買い物 10%割引券 10枚
東急ストア ^(注2)	お買い物 50円割引券 40枚
東急ホテルズ	客室正規料金 30%割引券 8枚
Bunkamura ザ・ミュージアム	ご招待券 2枚
五島美術館	ご招待券 2枚 + 2012年12月送付分に限り 2枚追加 ^(注3)

ご所有株式数	株主優待乗車証発行枚数	
3,000株以上 5,000株未満	電車全線きっぷ ^(注4)	10枚
5,000株以上 10,000株未満	電車全線きっぷ	20枚
10,000株以上 19,000株未満	電車全線きっぷ	40枚
19,000株以上 24,000株未満	電車全線きっぷ	80枚
24,000株以上 28,000株未満	電車全線パス + 電車全線きっぷ	1枚 10枚
28,000株以上 57,000株未満	電車全線パス + 電車全線きっぷ	1枚 30枚
57,000株以上	電車・東急バス全線パス ^(注5) + 電車全線きっぷ	1枚 30枚

3年以上継続して3,000株以上保有の場合
電車全線きっぷ 5枚追加

3年以上継続して10,000株以上保有の場合
電車全線きっぷ 10枚追加

(注1) 現金による合計金額3,000円(税抜)以上の同一売場でのお買い物1回につき、その金額の10% (100円未満四捨五入)を割引いたします(ただし、食料品、セール品、その他除外品がございます)。なお、割引券1枚につき50,000円(税抜)までのお買い物にご利用いただけます。

(注2) 1回のお買上合計金額1,000円(税込)以上につき、1,000円ごとに各1枚(50円)をご利用いただけます(ただし、商品券、タバコ、その他除外品がございます)。

(注3) リニューアルオープンを記念して、通常2枚のところ、2012年12月送付分に限り4枚配布いたします。

(注4) 電車全線きっぷは、1枚につき、東急線片道1乗車に限りご利用いただけます。

(注5) 東急バスについては、深夜急行バス、空港直行バスなど一部ご利用いただけない路線がございます。

継続保有の条件について

当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日)に継続して記載された株主さまに対し、その7回の基準日に保有していた最少株式数に応じて追加発行いたします。

●相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。

●株式交換等により当社株主となった場合は、その直後の基準日から起算いたします。株式交換等以前の時期との通算はいたしません。

●株主名簿への記載が同一の方であり、何らかの事情により株主番号が変更になっている場合には、お申し出いただき、かつ当社において、その確認がとれる場合に限り、お申し出いただいた日の直前の基準日より同一の株主番号であったものとして取り扱います。

●その他の事項は、当社の定める基準によります。

各優待券の発送時期および有効期間

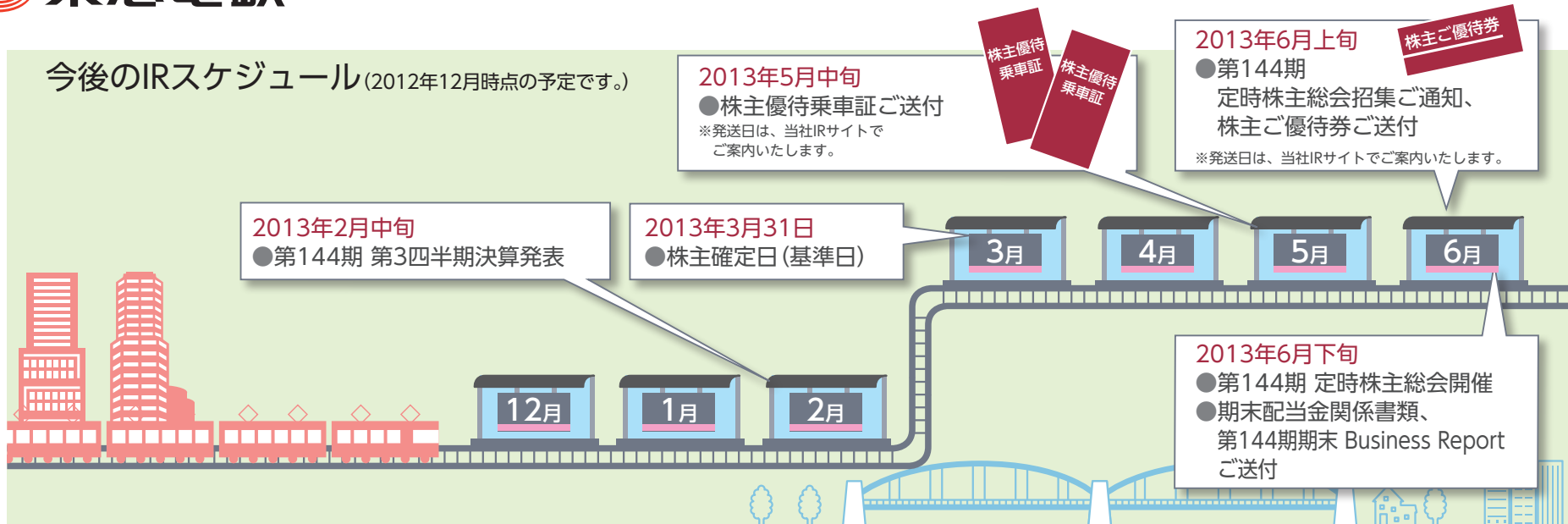
発行基準日	発送時期	内容	有効期限
3月31日	5月中旬	優待乗車証	11月30日まで
	6月上旬	ご優待券	12月31日まで
9月30日	11月中旬	優待乗車証	翌年5月31日まで
	12月上旬	ご優待券	翌年6月30日まで

今後のIRスケジュール

株主優待発送日などのスケジュールは裏表紙をご覧ください

裏表紙へ

今後のIRスケジュール (2012年12月時点の予定です。)



当社の決算情報をはじめ、株主優待の発送日や株式事務のご案内などは、当社IRサイトでも詳しくご案内しております。

<http://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



当社の適時開示情報や決算情報など、さまざまな情報を掲載しています。

株主・投資家の皆さまへ



株主の皆さまに役立つ情報をまとめて掲載しています。

株主の皆さまへ

ご存知ですか? IRサイト

知っトク情報



優待発送日については、こちらでご確認いただけます。

東急グループお客さまご案内窓口 東急お客さまセンター

当社および東急グループに関するお客さまからのお問い合わせやご意見、ご要望をお受けするため、専用の窓口「東急お客さまセンター」を設けております。お客さまから承った声は、経営者をはじめ全社で共有し、当社および東急グループ各社の施設やサービスの改善、業務の見直しに役立てております。

営業時間 月～金 8:00～20:00
土日祝 9:30～17:30
※年末年始などを除きます。

住 所 〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
東京急行電鉄株式会社 東急お客さまセンター
TEL 03-3477-0109 FAX 03-3477-6109
URL <http://www.tokyu.co.jp/>

お問い合わせ

東京急行電鉄株式会社 社長室 総務部
〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
TEL (03) 3477-6228 (月～金 9:30～12:30/13:30～17:00)



この報告書は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認証されました。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

2012年12月